



No. 147

令和3年3月5日発行  
吾妻教育事務所  
吾妻郡町村教育委員会連絡協議会

## 自身を試す時

嬭恋村教育委員会 教育長 地田 功一

今、私たちの生活様式や働き方、教育環境等において、急激な変化が生じています。このような中、学習環境の変化はもとより、授業づくりや学習スタイル等も多様な方向性をもって一層、拡大すること間違いありません。あわせて、学校現場では、新たな取組が必要となり、その対応力や推進力が求められることとなります。

さて、教育界ではGIGAスクール構想による一人一台端末環境の整備が急速に進んでいます。しかしながら、単にタブレット等を持たせれば、学習が充実したり、学力が向上したりするものではありません。「学習活動や学習指導等はどう活かすか」が問題です。

先日、管内教職員を対象とした、学習支援ソフト活用に係る実践的研修会に参加する機会を得ました。その研修から見たことは、取組への前向きな気持ちと関わりによって、未開の扉が確実に開かれていくことです。「まずは試してみる」このことが、教師力アップへの原点となることを再確認したところです。それぞれの立場において、今、何が起きているのかを見極め、「自身にとって必要なことや力を注ぐべきことは何か」、自身と向き合うことが必要です。そして、「まずは試してみるか」そんな気持ちと関わりが、最も大切だと思います。

急激な変化に際し、今まさに『自身を試す時』であると考えます。



## 令和2年度 学校・園訪問のまとめ

【学校教育係】

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていた学校・園の一部の訪問は中止となりましたが、訪問を通して気付いた点をまとめましたので、各学校・園の次年度の指導に生かしていただきたいと思っております。

### [確かな学力]

#### ○教員の協働による積極的な授業改善

各校において、先生方一人一人が主体的に参画する教員同士の学び合いを通じた授業構想・授業参観・授業検討の場を設けていただきました。また、各校の実態に合った、教員の協働による授業改善が効果的に機能するように研修体制を工夫していただきました。

今後も、各校の「主体的・対話的で深い学び」を実現している児童生徒の姿を全職員が日々の授業づくりをする中で意識し、児童生徒の変容の指標にいただき、職員の指導力向上が継続的に図られるようお願いします。

#### ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の充実

多くの学校で事務所が提案している指導案例を積極的に活用していただきながら、「子供の意識」と「振り返りの姿」を基に、授業の流れ（めあてー中心活動ー振り返り）について一貫性を大切にした授業スタイルを実践していただきました。

「主体的・対話的で深い学び」をより一層充実させるために、今後も発問や支援、対話的な場面を工夫していただき、児童生徒が各教科等における「見方・考え方」を働かせながら自分の学びを広げたり深めたりできる児童生徒主体の授業の実現をお願いします。

